日本鍛圧機械工業会　第 6 回サーボプレス技術セミナー

＜ サーボプレスをフル活用する鍛造業界と中小企業の生き残り戦略>

日　時：2027 年 2 月 26 日(金)　10:00～17:00
会　場：機械振興会館　地下 2 階ホール　〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8
主　催：日本鍛圧機械工業会、日本塑性加工学会（協賛）
趣　旨：プレススライドのモーションのバリエーションが豊富なサーボプレスは、成形のサイクルタイムの短縮だけでなく成形性の向上に大きく貢献可能である。最新のサーボプレスと成形の技術をセットにした本セミナーの今回は、大型鍛造用サーボプレスおよび優れた鍛造技術を有する部品メーカにスポットを当てて紹介する。部品メーカの中には、鍛圧機械工業会の MF 技術大賞受賞企業もあり、卓越した成形技術を感じられる企画となっている。また、鍛造企業の生き残り戦略についての講演もあり、技術者だけでなく企業経営者にも有益な情報を提供するとともに意見交換の場とする。

司　会：＜午前の部＞髙橋　進(日本大学)　＜午後の部＞楊 明(東京都立大学)
プログラム：(敬称略) ◆は日鍛工会員

時　間	内　　容	講　　師
10:00～10:05	開会の辞	日本鍛圧機械工業会 理事副会長 技術委員長 相澤 邦充
10:05～10:25	◇総論 プレス加工の基礎理論を見直そう	東京都立大学 名誉教授 西村　尚
10:25～11:05	◇特別講演 『刀と鉄砲』～小さな無名鍛造会社の生き残り戦略～	㈱ミヤジマ 宮嶋　誠一郎
11:05～11:35	◆大型サーボプレスによる高付加価値加工と生産性革新	アイダエンジニアリング㈱ 松野　修一
11:35～12:05	◆エイチアンドエフ製自動車用大型サーボプレスの軌跡と未来	㈱エイチアンドエフ 中村　一行
12:05～13:00	昼　食	
13:00～13:30	◆スクリュープレスのこれまでとサーボシステムによる新分野への挑戦	榎本機工㈱ 里　翼
13:30～14:00	◆コマツ製大型サーボプレスラインの進化とさらなる挑戦	コマツ産機㈱ 森下　健太
14:00～14:25	◇サーボプレス技術の活用＋α で自動車業界の次のニーズに応える	㈱ナカヒョウ 中谷　俊晴
14:25～14:50	◇冷間鍛造プレスによるプリンター用ヘッド部品の超精密板鍛造	秋田エプソン㈱ 小野　寛範
14:50～15:15	◇サーボプレス機械を使ったシボリ加工例	㈲吾妻プレス工業 渡辺　隆
15:15～15:30	休　憩	
15:30～15:55	◇プレス多工程鍛造による高難度ローレット部品およびその他の成形技術	太陽工業㈱ 小平　裕也
15:55～16:20	◇金型技術とサーボプレスによる高精度プレス加工への取り組み	㈱東城製作所 多部田　幸雄
16:20～16:45	◇シミュレーション技術(CAE)とサーボプレスを活用した成形技術高度化への取り組み	㈱ヤマナカゴーキン 牟礼　昌哉
16:45～16:55	質疑応答	
16:55～17:00	閉会の辞	日本塑性加工学会 楊　明

定　　員：100 名（定員になり次第締め切ります）
参 加 費：日鍛工会員無料、日本塑性加工学会員及び一般参加者 1 名につき 3,000 円消費税 10%込み（含：弁当、飲料）
申込方法：日鍛工 HP 上「セミナー参加申込書」に、必要事項を記入し 2 月 19 日（金）までにお申し込み下さい。
　　参加費振込は 1 月 15 日（金）～2 月 19 日（金）の間でお願い致します。ご入金後の返金は不可となります。
問合せ先：日本鍛圧機械工業会　東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308 号　TEL 03-3432-4579
申 込 先：noguchi@j-fma.or.jp（担当、野口宛）
そ の 他：昼食時休憩室等は別途ご案内致します。講演中の撮影・録音は禁止します。
　　内容は一部変更することもございます。詳しくは日鍛工 HP をご覧下さい。https://j-fma.or.jp/